

## 内訳・概況書 R4 (Ver.19.10) の予定

内訳・概況書 R4 (Ver.19.10) についてご連絡いたします。  
 なお、当内容は変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 発行プログラム

システム名	リリース	(データ変換対象)	(保守加入対象)
内訳・概況書 R4 ※1	19.10 ※2	13.10 ※3	18.10

- ※1 電子申告更新用プログラム（現在は e9 が最新）は変更ありません。  
 Ver.19.10 にバージョンアップ後も引き続き、電子申告出力機能を使用することができます。  
 ただし、内訳書新様式の電子申告出力については、2019年6月公開予定の e10 にて対応します。
- ※2 内訳・概況書 R4 Ver.19.1 用のライセンスを使用します。  
 また、E i ボード Ver.19.10 (2019/4/18 公開予定) 以降がインストールされた環境が必要です。
- ※3 Ver.13.10 (内訳・概況書 R4 初版バージョン) 以降で作成された法人データは「旧データ」として、データ選択画面に表示されます。  
 データ選択により「データ変換処理」が行われ、本バージョン (Ver.19.10) で使用できるようになります。

### 2. 日程 (予定)

提供方法	提供日
E i ボードダウンロードマネージャー	2019年5月7日 (火)
エプソン会計システム「マイページ」	
CD 送品 (CD オプション契約の方)	2019年5月16日 (木) 送品開始

### 3. システムの対応内容 (予定)

勘定科目内訳明細書の様式変更、および新元号のシステム対応を行います。

#### 3-1. 勘定科目内訳明細書の様式変更 (記載事項の簡素化)

平成 31 年 4 月 1 日以後終了事業年度分より使用する新様式に対応します。

##### ■様式の変更内容

資本金 1 億円超の大法人を対象とした、2020 年 4 月 1 日以降開始事業年度からの電子申告義務化を見据え、法人税申告書に添付する勘定科目内訳書の記載事項の簡素化が図られます。  
 以下の変更が行われます。

① 記載内容の見直し	売掛金(未収入金)や買掛金(未払金、未払費用)など、記載量が多くなる傾向にある勘定科目を対象に、上位 100 件のみを記載する方法が認められるようになります。
② 記載単位の柔軟化	記載単位を (取引等の) 相手先としている勘定科目を対象に、支店、事業所別の合計金額を記載する方法も認められるようになります。
③ 記載項目の削除等	「貸付理由(借入理由)」欄の削除を行ったり、「取引の内容」欄を「摘要」欄に変更し記載の自由化を図ったりするなどの変更が行われます。

各帳票の変更の詳細は以下のリンクをご覧ください。

[平成 31 年 4 月 1 日以後終了事業年度分より使用する内訳書新様式の変更内容](#)

### ■システムの対応

使用する様式は、事業年度により自動判定して表示するようにします。  
旧様式で入力済みの内容は新様式にそのまま引き継がれます。

### 3-2. 新元号対応

E i ボード Ver.19.10 (2019 年 4 月 18 日予定) がインストールされている環境において、2019 年 5 月 1 日以降の日付を新しい元号で表示するようにします。

### ■現在のバージョン (Ver.18.10~18.12) の対応状況

現在のバージョン (Ver.18.10~18.12) も、E i ボード Ver.19.10 をインストールすることで新しい元号が表示されるようになりますが、一部 OS のシステム日付 (和暦) を参照している部分があるため、全てが新元号での表示にはなりません。

Ver.19.10 では、日付表示を全て E i ボードの日付管理情報を使用するように変更します。

### 3-3. 各内訳書 日付欄に元号入力欄を追加

②受取手形など日付入力欄がある帳票について、元号の入力欄を追加します。

	振出人	振出年月日			支払銀行名	金額	
		支払期日			支払銀行支店名		
1 ▶	サンプル商事株式会社	平	31	2	28	サンプル銀行	1,000,000
		平	31	4	10	さくら	

### 3-4. バックアップ対象データの変更

手動バックアップの画面に、**旧データ** (Ver.19.10 へ変換前のデータ) も表示するようにし、バックアップを取ることができるようにしました。

以上、宜しくお願い致します。